

第1回三浦市公共下水道事業における民間資金等活用検討審議会

議事概要

- 1 日 時 平成29年2月17日(金) 10時00分から11時55分まで
- 2 場 所 三浦市観光インフォメーションセンター 2階会議室
- 3 出席委員 4名(全員)
- 4 会議運営 一部公開
- 5 議事概要

(1) 会長、副会長の選出について

会長は、学識経験のある者の中から互選により森田委員に、副会長は会長の指名により星野委員に決定した。

(2) 三浦市公共下水道事業における民間資金等活用検討審議会への諮問について

吉田市長から森田会長へ、三浦市公共下水道事業における公共施設等運営権方式の導入について、審議会へ意見を求める旨の諮問書が手渡された。

(3) 公共施設等運営権方式(コンセッション方式)の概要について

【事務局説明までは公開、審議部分は非公開】

ア コンセッション方式を進めるにあたり、資産状況や財務状況(VFMの算出)の調査の進捗、事業スキームなどについて意見交換が行われた。委員から出された主な意見は次のとおり。

(ア) コンセッション方式の導入による維持管理費や建設改良費の削減をメリットの1つとして想定しているのであれば、何故費用の削減が可能なのか、制度の特徴や三浦市の事業規模等を踏まえたうえできちんと理由を整理する必要がある。

(イ) 通常のPFI事業と異なり、事業者へ既存の施設を引き渡すこととなるため、事業者のリスク負担が大きい。引き渡し当初は市がリスクを負うなど、事業者に配慮することで、事業者の手が上がりやすくなる。

(ウ) 汚泥処理について、今までと同様、三浦地域資源ユーズ(株)で汚泥を処理しているが、汚泥の有効活用に関する事業者のメリットがなくなっている。任意事業として、何か利益を生み出すような提案を要求していったほうがよい。

(エ) 雨水は事業範囲に含まれていないが、実施すべき業務はないのか。業務量が増えるという意味で、事業者としてはメリットになる可能性がある。

(オ) 事業者がリスクを保有できるのか判断するために資産状況の開示が重要だが、今回示されたスケジュールでは8月の公募前でなく10月の競争的対話にて開示する

としており、無理のあるスケジュールとなっている。

6 次回審議会の開催について

次回は3月24日を予定しているが、委員の意見を踏まえ、事務局の準備が整うか確認するため、いったん保留とした。